

根面う蝕（歯ぐきの際にできる虫歯）の新規治療法開発に関する研究

1. 研究の対象

治療上抜歯が必要と診断された方に協力をお願いをしております。原則として、成人（18歳以上）の方をお願いをしております。

2. 研究目的・方法

近年、高齢者の残存している歯の数が増えていることにより、根面う蝕（歯ぐきの際にできる虫歯）が増えてきています。また介護の必要な方でも同じような口の状態がみられることは少なくありません。根面う蝕は歯ぐきの近くにできるため、治療が難しくなることがよくあります。こうした現状を踏まえ、我々は健康な歯やすでに根面う蝕になっている歯に対して、以下の2点を目的として研究に取り組んでいます。

- ① 根面う蝕ができるメカニズムの解明をすること
- ② 根面う蝕に対する「削らない治療」を開発すること

研究に参加された場合、治療上必要な抜歯を行い、抜去した歯を研究の試料として使用させていただきます。この研究により、新たな検査を行うことや、治療を行うことはありません。なお、この研究は、2028年12月末まで行う予定です。また200本の抜去歯を使用させて頂く予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：抜去歯

情報：抜歯理由

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府吹田市山田丘 1-8

大阪大学大学院歯学研究科歯科保存学講座

研究責任者 林 美加子

電話：06-6879-2927